

みやこ 京グリーン電力制度のご案内

みやこ
京のアジェンダ 21 フォーラム

■京都のグリーン電力制度 京グリーン電力

京のアジェンダ 21 フォーラム（以下「フォーラム」という）では、地球温暖化対策として、地産・地消による太陽光などの自然エネルギー発電の普及を目指した京都独自の仕組み「京（みやこ）グリーン電力制度」を創設しました。

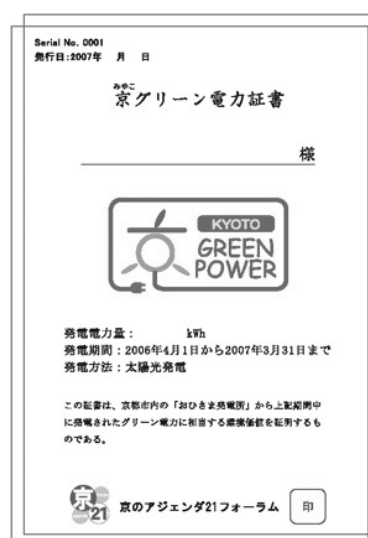
「京グリーン電力制度」は、グリーン電力証書システムを活用し、京都の自然エネルギー発電設備で作られた電力のうち、自家消費分に含まれる環境付加価値を評価する仕組みです。具体的には、環境付加価値をグリーン電力証書化し、第三者に販売します。

■グリーン電力証書制度とは

太陽光やバイオマスなどの自然エネルギー発電設備で発電された電力には、「電気としての価値」と「環境付加価値」が含まれます。「環境付加価値」が取引される証明として発行されるのがグリーン電力証書、取引の仕組みがグリーン電力証書制度です。



↑京グリーン電力マーク



↑京グリーン電力証書

■京グリーン電力制度の特徴

京グリーン電力制度には、以下のような特徴があります。

①「地産・地消」の自然エネルギー利用を促進

京都市域の自然エネルギー発電設備で発電されたグリーン電力を、京都市域の事業者等に使ってもらうという「地産・地消」の取り組みです。

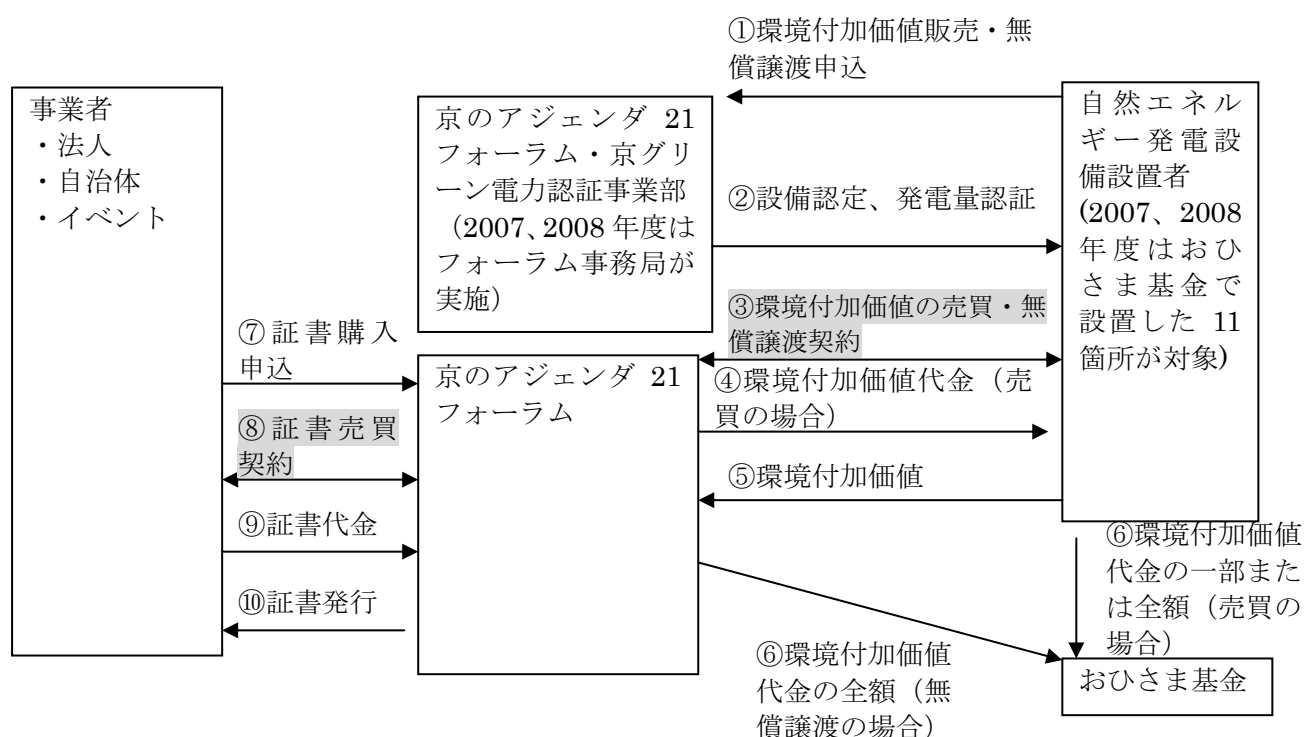
②太陽光発電設備「おひさま発電所」の増設に貢献

自然エネルギー発電設備設置者は、発電する自然エネルギーの環境付加価値を、フォーラムに販売するか、無償譲渡するか、選択していただきます。販売された場合は、フォーラムが支払う環境付加価値代金の一部または全額を、特定非営利活動法人きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」に寄付していただきます。また、無償譲渡された場合は、フォーラムが「おひさま基金」に全額寄付します。「おひさま基金」への寄付は、京都市域での「おひさま発電所」の増設に活用されます。

*おひさま基金、おひさま発電所

京都では、きょうとグリーンファンドが中心になって、「おひさま発電所づくり」が進められています。これは、市民、事業者等が省エネに取り組み、その節約分の一部を「おひさま基金」に寄付してもらい、その基金をもとに、京都の保育園・幼稚園等の屋根に太陽光発電パネルを設置することを通じて、未来を担う子ども達や保護者の方々への環境学習の拠点にするというものです。

■京グリーン電力制度の全体像



※2007 年度、2008 年度は試行期間のため、②の設備認定・発電量認証はフォーラム事務局が行い、京グリーン電力認証事業部は 2009 年度から設置する予定です。

■ 証書購入者のメリット

証書を購入いただくことで（環境付加価値 10 円/kWh×購入希望量＋証書代 2000 円（希望される場合））、「京グリーン電力」マークを使用し、以下の表現などで CO2 排出削減効果をアピールできます。また、京都市域での「おひさま発電所」の増設に貢献できます。

*アピール例

- ・「このイベントは、京都のおひさま発電所でできたグリーン電力を活用し、CO2 フリーで開催しています。」
- ・「当工場は使用電力の○%を京グリーン電力によってまかっています。」
- ・「当事業所で一年間に使用する電気の○kWh 相当を、京グリーン電力でまかっています。」

■ 自然エネルギー発電設備設置者のメリット

- ・発電した電力のうち自家消費分の環境付加価値をフォーラムに販売し、環境付加価値代金（9 円/kWh）が新たな収入になります。（販売の場合）
- ・環境付加価値をフォーラムに販売される場合は、受け取り代金の一部または全額を「おひさま基金」に寄付していただき、またフォーラムに無償譲渡される場合は、フォーラムから全額を「おひさま基金」に寄付するため、京都市域での「おひさま発電所」の増設に貢献できます。

■ 注意事項

環境付加価値の二重販売・譲渡、二重評価（ダブルカウント）を厳しく禁止します。

■ お問合せ先 京のアジェンダ 21 フォーラム

京都市中京区柳八幡町 65 京都朝日ビル 4F 京都市総合企画局地球温暖化対策室内

TEL 075-647-3535 FAX 075-647-3536

E-mail:ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp URL: <http://ma21f.web.infoseek.co.jp/index.html>

○京のアジェンダ 21 フォーラムとは

京都市の環境行動計画として生み出された「京のアジェンダ 21」を、市民、事業者、行政のパートナーシップで実行していくために、1998 年に創設された組織です。様々な立場の人々が意見交換し、協働し、「持続可能な京都づくり」を目指す活動を行っています。これまでの成果としては、KES・環境マネジメントシステム・スタンダードの創設等があります。

- ・代表 内藤正明 京都大学名誉教授
- ・会員数 個人会員 273 人
団体会員 290 団体
合計 563 会員（2008 年 2 月末日現在）